

第5回 東かがわ市基本構想審議会 報告書

【日時】令和5年6月9日（金） 13:00 ～ 14:20

【場所】東かがわ市役所 4階 災害対策本部室（報告会：4階 応接室）

【参加者】東かがわ市基本構想審議会委員 3名
総務部長、財務課長、官民連携マネージャー
経営GL、経営G

【会議事項】（1）次期東かがわ市基本構想（案）について
（第4回基本構想審議会等の意見反映による修正事項の報告）
（2）東かがわ市基本構想審議会 報告会について
（東かがわ市長への次期基本構想（案）の報告会）
（3）今後のスケジュールについて

【審議会 報告】

（1）次期東かがわ市基本構想（案）について

第4回基本構想審議会及び意見照会の結果を踏まえた、次期基本構想（案）について事務局より前回案からの修正内容等の説明。

【修正内容】①イラスト図・フロー図の追加（図示化）

②まちづくりビジョンの表現統一（【基本的な方向性】の項目を「目的」表記に）

③色覚障がいのある人に配慮した配色等について

（イラスト図等の確認、別紙資料）

事務局からの説明後に、質疑・意見交換を行い、審議会会長より、次期東かがわ市基本構想（案）の承認について採決をとる。 ⇒ 「全員：承認」

基本構想審議会承認いただいた、「次期東かがわ市基本構想（案）」を市長に報告する。

(2) 東かがわ市基本構想審議会報告会について

【参加者】 市長、副市長、上記審議会参加者

【場 所】 東かがわ市役所 4階 応接室

審議会会長よりあいさつ、市長へ報告書の提出

事務局より基本構想審議会の取組（別紙）と次期基本構想（案）の概要（大項目）について説明し、次期基本構想のポイント等を長町会長から説明する。

【次期基本構想のポイント】

○幅広く、基本構想を認知・共有していただくために、イラスト図・フロー図等を作成。

○将来像「つながる未来を ともに創るまち 東かがわ」について、「プラットフォーム」の概念を取り入れて整理した。

様々な主体（ひと・地域・事業者・そと）が相互につながり、ともにまちづくりビジョンに基づく取組を進めていく中で、まち全体が「つながる未来」を創造するプラットフォーム（舞台・土台・きっかけ）として機能するまちを目指し、行政はそのつながりや仕組みづくりを中心となって行い、様々な主体の連携を推進すると位置づけている。

○基本的理念として、「つながる」・「ともに」は、「様々な主体」間の連携、「つづく」は未来に向けた視点（時間軸）を取り入れることを意図したものである。

○「4 基本構想を実現するために」では、実現に向けた行政の取組方針として、「未来につながる持続可能なまちづくり」と「様々な主体とともに実現する基本構想」を整理している。

≪審議員との意見交換≫ ★次期基本構想に込めた想いについて

○次期基本構想においては、「プラットフォーム」という概念を活用した整理を行った。

未来につながるマッチング・課題解決の場を提供し、人・情報をオープンにすることによって様々な主体がつながる場となる。また、その場を創るだけでなく、そこから生まれてくるプラットフォームもある。その場をつくり、時にはプレーヤーとしてつなぐ・つながる役割が行政となる。

○次期基本構想（案）は、全体的に「きれいに」整理したものとなった。基本構想の位置付けとして、包括的な整理となるものと理解しているが、この基本構想を基に、どのように具体化・実行していくかが重要である。

以前行った、「対話会（100人会議）」の取組について、ひとが集まるだけでなく、その場での意見や提案について、参加者等にフィードバックすることが大事である。（皆さんの意見を受け取って、このように実現・改善することができた・・・）

次期基本構想策定の取組で行った、「ワクワクアイデアコンクール」についても、定期的に行い、フィードバックをすることが大事である。（3年ぐらいの間隔で実施してはどうか。）

- 「様々な要因のため自分でできない人・生きづらい人」に対するプラットフォームをどうしていくかが課題と感じる。

地元を元気にしたい・どうにかしたいという思いは、みんな持っている。子育て世代については、こどもをきっかけとして、地域とのつながりやコミュニティが広がり、個々の世界が広がる。

「災害対策本部室」へ移動し、「基本構想審議会」を「再開」。

今後のスケジュールについて、事務局より説明し、「解散」。